

井原市公共交通会議（令和元年度第2回）議事録

と き 令和元年 8 月 20 日（火）

16 : 00 ~ 17 : 15

ところ 井原市役所 5 階 501・502 会議室

1. 開 会

会議の成立を報告

- ・ 出席者 委員 24 名中 22 名（実出席 21 名、代理出席 1 名）

2. 猪原会長あいさつ

委員の異動についてのお知らせ

- ・ 井原鉄道：藤本委員
- ・ 北振バス運転手代表：政岩委員

事務局から前回公共交通会議の概要を説明

3. 協 議

1) 市民アンケート調査票（案）について

- ・ 事務局説明

（猪原会長） 委員の皆様からご質問やご意見等はないか。

（委員） 様々な年齢層が回答するので誰にでもわかりやすい表現にしてほしい。例えば、バス路線の維持確保についての設問の中で、1人当たりの負担額の記載があるが、年額であることを表すため「年間」という記述が必要だと思う。選択肢の表現についても、「積極的に利用しようと思う」や「少しは利用しようと思う」等、わかりやすい表現にした方が良いのではないか。前回アンケートの回収率（30%）は低いと思うので、今回は50%を目指してほしい。

（事務局） アンケート調査を実施しても回収できなければ意味がないので、回収率を上げるため調査実施前に自治会長の会議等で周知したい。調査票はボリュームが多いかもしれないが、分析に必要な情報を得るためにはこの程度になることをご理解いただきたい。設問については前回と同じ聞き方が良いと思うので、わかりやすい表現について検討していきたい。

（猪原会長） 回答者にとってわかりやすい調査票になるよう心がけてもらいたい。

（委員） 昨年度、前回調査と前々回調査を比較しようとしたが、選択肢の表現が違うためうまく比較できなかった。前回からの変化も見ないといけないので安易に表現を変えると比較ができなくなる。わかりやすくするため表現を変えるのは良いが、全てを変えてしまうのではなく、その後の分析を想定して検討してほしい。

（猪原会長） 分析に影響しない範囲で修正をお願いしたい。

（委員） 個人票は2名が回答することになっているが、1枚の個人票で2人分回答することになるのか。また、回収方法を郵送ではなく、自治会で回収する形にしたら回収率も上がるのではないか。高齢になると書いている途中で

- 嫌になってしまうが、自治会で回収するのなら回答する人も多いと思う。
- (事務局) 個人票については1世帯につき2部配布する。自治会長に配布・回収を依頼すれば回収率は上がるかもしれないが、世帯数が多いので自治会長の仕事としての依頼が難しい。
- (委員) 小さな自治会の単位ならば配る数が少ないので可能ではないか。回収率が30%にも満たない可能性もあるので、自治会長に配布・回収を依頼した方が良いと思う。
- (事務局) 様々な年代の情報を得るため、全戸対象ではなく無作為抽出をして3,000世帯に配布する形をとっている。自治会長に配布してもらおうと無作為抽出にならなくなるため、ご理解いただきたい。
- (委員) 個人票の買い物についての設問で、食料品や日用品に限定した意図を教えてください。また、通院先の選択肢を50音順にした方が選びやすいのではないか。
- (事務局) 買い物についての設問は前回調査の内容に合わせている。また、通院先の選択肢の順番については医師会の名簿順に記載している。
- (委員) 回答者の視点に立ってみると、50音順や地区順の方が探しやすいと思う。
- (事務局) ご指摘をもとに検討したい。
- (委員) 無作為抽出というのは家族構成を加味しているのか。一人暮らしの方や施設に入っている方も対象になっているのか教えてください。
- (事務局) 今回の無作為抽出は、15歳以上であれば全ての世帯が対象となる。そのため、一人暮らしの世帯も対象に含まれる。
- (委員) 補足になるが、今回のような全市的な抽出調査では、サンプル数とコストを抑える代わりに、精度を上げ偏りが出ないようにする必要がある。自治会長に配布を依頼すると同じような生活や好みの人に配布してしまうこともあるため、意見等に偏りが出してしまう可能性もあり、全世界帯を対象とした無作為抽出が条件となる。
- (委員) 世帯票の井原鉄道の設問について、井原鉄道を利用しない人に対して、利用しない理由を質問できないか。井原鉄道をより利用してもらうための分析ができると思うので検討してもらいたい。
- (猪原会長) 事務局で検討してもらいたい。
- (委員) 鉄道やバスではカバーできない範囲を網羅することがタクシー事業の役割だと思っている。調査内容はバスが主体になっており、タクシーは公共交通とは言えないのかもしれないが、予約型乗合タクシーだけではなく、この機会に通常のタクシーについての設問を入れてもらいたい。
- (事務局) 予約型乗合タクシーは公共交通として成り立っており、通常のタクシーについても、地域の足として利用されるべきである。今回のアンケートの趣旨としては公共交通網形成計画の更新にかかわるものなので、タクシーがどのように関係していくか次回会議までに検討したい。
- (委員) 抽出世帯数を5,800世帯から3,000世帯に減らしたとしても精度に問題は

ないということだが、どのような分析をしたいと思って 3,000 世帯にしたのか。

またアンケート調査全体に関係するが、公共交通に関する状況が大きく変化している中で、県内外の自治体では様々な議論がされており、前回とほとんど同じ内容のアンケート調査で良いのか疑問に思う。例えば、高齢者のスマートフォン保有率が増えていること等にも注目して公共交通を考えるべきかもしれない。次の計画を作るためにアンケート調査をしているのであれば、次の計画を想定して、その意図に沿った設問が必要ではないか。また、新たな公共交通のサービス等について、アイデアがあれば委員の皆さんからも発言してもらいたい。

(事務局) 調査の精度については、井原地区、芳井地区、美星地区の 3 地区に分けて分析しようと思っている。世帯票では、各地区で 100 以上のサンプルが回収でき、信頼性を得られるのではないかと考えている。

(委員) 世帯票ではなく、個人票では 400 程度のサンプルが必要なので、地区別の集計単位でサンプル数を確保するつもりなら足りない。また分析の際、様々な分類に分けると更に必要なサンプルが足りなくなってくる。調査結果が信頼性の低いものでは意味がないため、コスト的な問題で対象世帯を減らすべきではない。現在は、アンケート調査実施前の計画段階なので、どのような分析をするかを含めてよく考えてほしい。

(事務局) 9 月 6 日までにアンケート調査に対する意見を事務局に寄せてもらい、今回の意見と合わせて次回公共交通会議で検討した結果を会議で議論したい。

(猪原会長) 期限までに意見を事務局の方に寄せていただきたい。調査票の案については、事務局で再度調整したものを次回公共交通会議にて再提出することで承認をいただきたい。

【協議事項承認】

2) いばらおでかけバスマップ (案) について

・ 事務局説明

(猪原会長) 委員の皆様からご質問等はないか。

(委員) 芳井地区を運行するバスについて、芳井支所や芳井マーケットで乗ったら芳井支所や芳井マーケットに戻って来るような、地域を循環する形で運行してもらいたい。

(猪原会長) 本議題はバスマップについて議論することであり、バスの運行については、次回以降の公共交通会議で検討することをご了承いただきたい。

(委員) ハンドバックに入れて持ち歩けるという趣旨で作成されたと思うが、現状ではお出かけ先がどこにあるかがわからない。商業施設や病院、観光スポット等が記載されている形が理想だが、個々の商店等の記載が難しいのであれば、行政の施設等をランドマーク (目印) として載せてほしい。普段バスを利用している人はわかるかもしれないが、新規の利用者を発掘する視

点も必要であるため、路線図だけではなく、バスマップを見たらここに行ってみようと思えるような情報があったら良いと思う。他の自治体では、商業施設や観光施設からの広告費を使ってバスマップを作成している例もあるので、参考にしてもらいたい。

(事務局) 「いばらおでかけバスマップ」の作成にあたっては、現在市で発行しているバスマップや時刻表を集約し、お出かけ時に乗るバス（目的地に行くバス）が見ればわかるバスマップ・時刻表を目指した。更に良いものにするためにはランドマーク（目印）の記載も必要だと思うが、情報が多すぎると利用者にとってわかりにくくなる可能性もあるので、できる限りの修正を検討していきたい。

(猪原会長) 可能な限り意見を踏まえ事務局で修正するという事で承認をいただけるか。

【協議事項承認】

3) その他

(事務局) アンケート調査については9月6日までに意見をいただきたい。
次回の会議は10月下旬から11月上旬を予定している。

(仁科副会長) アンケート調査は、今後のバスの運行に重要な役割を果たすので、皆さんの意見を出し合って検討していただきたい。

4) 閉 会

以上